



平成 23 年 12 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木 下 憲 明
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

「Prolyl 4-Hydroxylated Human α -Fibrinogen 測定キット」製品化のお知らせ

当社は、株式会社トランスジェニック（代表取締役社長：福永健司、熊本県熊本市）と進めてまいりました共同研究の成果として、「Prolyl 4-Hydroxylated Human α -Fibrinogen 測定用 ELISA キット」の製品化を完了いたしましたのでお知らせいたします。

「Prolyl 4-Hydroxylated Human α -Fibrinogen 測定用 ELISA キット」は、2011 年 4 月 25 日締結の当社と株式会社トランスジェニックとの新規膵臓がん^{注1} マーカー候補タンパク質に対する高親和性抗体の共同研究契約に基づき、トランスジェニック社が GANP[®]マウス技術^{注2}により作製した当該抗体の将来的な診断応用に向けたキット化ならびに有用性検証を進めてきた成果であります。当社は、株式会社トランスジェニックとの共同研究を継続し、診断薬シーズとなる開発を進めてまいります。

なお、本製品は、株式会社トランスジェニックから 2011 年 12 月 12 日に研究用試薬として発売される予定です。

【用語の説明】

注 1：膵臓がん

膵臓がんは、がんの臓器別死因順位が第 5 位ですが、進行期になるまで無症状であること、また、膵臓そのものが体の奥にあることから発見が困難ながんであり、最も悪性度の高い疾患の一つです。現在の診断方法としては、血中の CA19-9、CEA、CA50 等の腫瘍マーカーの測定や CT 等の画像診断が実施されています。

注 2：GANP[®]マウス技術

GANP (Germinal Center Associated Nuclear Protein)とは、熊本大学 阪口薫雄教授らにより発見された遺伝子で、抗体を産生する B 細胞で発現しています。

GANP[®]マウス技術とは、この GANP 遺伝子を過剰に発現させた GANP[®]マウスを用いて抗体を作製する技術です。GANP[®]マウスで得られる抗体は、親和性や特異性の高いことが特徴で、診断薬や抗体医薬の開発への展開が可能です。

以上